



1 Aさん(30歳、販売員)は月経不順を主訴に産婦人科を受診した。検査の結果、多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)と診断された。BMI 26.5、血圧 126/78 mmHg、既往歴に特記事項はない。下肢浮腫はないが「夕方に足がむくんでいることがあります」と話す。

妊娠を希望する A さんに最初に必要な指導はどれか。

1. 安 静
2. 減 塩
3. 減 量
4. 水分制限

2 出生した児の特徴として小頭症を示す症候群はどれか。

1. 胎児アルコール症候群
2. Down<ダウン>症候群
3. Turner<ターナー>症候群
4. Marfan<マルファン>症候群

3 男性の性反応で正しいのはどれか。

1. 勃起中枢は第1仙髄に存在する。
2. 射精は副交感神経反射によって起こる。
3. 陰茎の体性感覚に関わるのは坐骨神経である。
4. 勃起は海綿体が充血し、陰茎が硬化する現象である。

4 母体に由来する卵膜の組織はどれか。

1. 羊 膜
2. 栄養膜
3. 絨毛膜
4. 脱落膜

5 妊婦健康診査の未受診者が搬送されて2時間後に正常分娩で出産した。新生児のApgar〈アプガー〉スコアは1分後9点、5分後10点。身長47 cm、体重2,780 gであった。

在胎週数を推定するためにDubowitz法を用いて神経学的所見の評価を行うのに適切な時期はどれか。

1. 出生30分後
2. 出生2時間後
3. 出生12時間後
4. 出生36時間後

6 乳幼児の定期予防接種について適切なのはどれか。

1. BCGワクチンは1歳までに接種する。
2. ロタウイルスワクチンの初回接種は生後36週までに行う。
3. 不活化インフルエンザワクチンは定期予防接種に含まれる。
4. 麻疹風疹混合〈MR〉ワクチンの接種回数は3回である。

7 ジノプロストン腔内留置用製剤について正しいのはどれか。

1. 子宮頸管の熟化作用がある。
2. 産婦人科外来での使用が推奨される。
3. 子宮収縮薬の点滴静脈内注射と同時に使用する。
4. 使用中は超音波ドプラ法で間欠的に胎児心音を聴取する。

8 緊急避妊を目的としたレボノルゲストレルの内服に関する指導内容として適切なものはどれか。

1. 服用回数は1回である。
2. 妊娠阻止率は99%である。
3. 内服後7日間は他の避妊手段は必要ない。
4. 性交後72時間以内であればいつ内服しても効果は変わらない。

9 更年期女性のメタボリックシンドロームの説明で正しいのはどれか。

1. メタボリックシンドロームの診断はBMIで行う。
2. 閉経後は内臓脂肪より皮下脂肪が増加する。
3. HDL コレステロールが上昇する。
4. 診断基準に血糖値が含まれる。



13 Aさん(32歳、初産婦)は40週4日で3,200gの男児を正常分娩で出産し、母児同室で過ごしている。産後3日の夜、助産師に「授乳するたびに右の乳首が痛くて我慢できません」と話した。観察すると両乳房とも緊満しており、右乳頭はやや短めで10時~12時の方向に損傷を認めた。痂皮が形成されており、出血はない。児の口腔内に異常は見られず、本日の体重は3,050gである。

助産師がAさんに行うケアで適切なのはどれか。

1. 縦抱きでの授乳姿勢を勧める。
2. 乳頭の乾燥を図り、日光に当てる。
3. 授乳前に乳輪をほぐすよう搾乳する。
4. 夜間は人工乳を補足してAさんを休ませる。

14 新生児の水分・体液成分で正しいのはどれか。

1. 成人と比べて高張尿である。
2. 尿量と比べて摂取水分量が多い。
3. 成人と比べて細胞外水分量が多い。
4. 出生時の総水分量は体重の50%である。

15 正常新生児に対する初回のビタミンK<sub>2</sub>シロップの与薬方法について正しいのはどれか。

1. 与薬前に母親が母乳育児を希望しているか確認する。
2. 与薬前に新生児の初回排便を確認する。
3. 与薬するときは2倍に希釈する。
4. 与薬後は新生児の嘔吐の有無を確認する。

16 新生児血液疾患の説明として正しいのはどれか。

1. 新生児ビタミンD欠乏は凝固異常による出血症状と関連する。
2. 遺伝性球状赤血球症に罹患した児の赤血球は小球状で変形しやすい。
3. 頭血腫では出血の進展による播種性血管内凝固(DIC)の発症リスクが高い。
4. 母体が血液型O型、児が血液型A型の場合、児の溶血をきたすリスクがある。

17 乳幼児の食行動の発達についての組合せで適切なのはどれか。

1. 生後6か月 —— 片手にスプーンを持ちながら、手づかみ食べをする。
2. 生後10か月 —— 片手でコップを持って飲める。
3. 1歳6か月 —— スプーンと茶碗を別々の手で持って食べられる。
4. 3歳0か月 —— 箸と茶碗を別々の手で持って食べられる。

18 Aちゃん(生後11か月、男児)は居間でひとり遊びをしている。居間の環境(別冊No. 1)を別に示す。

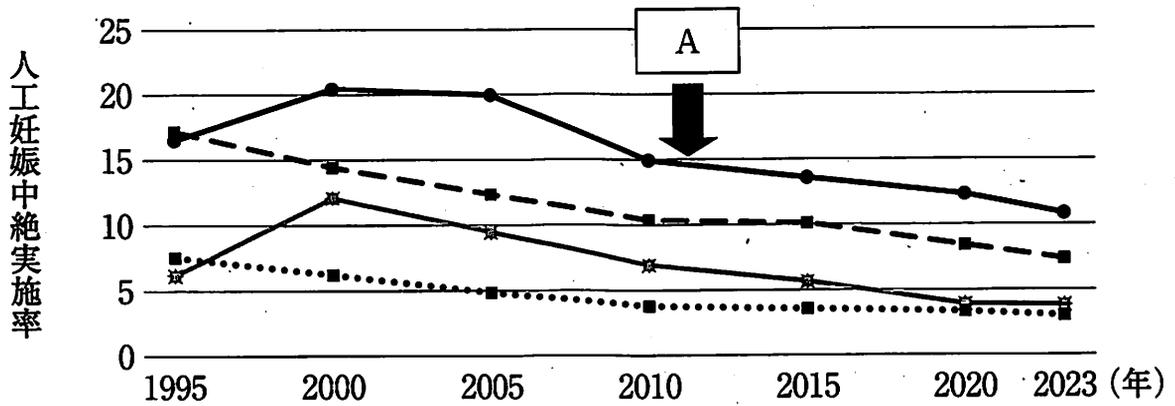
このとき最も事故が起こると考えられるのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

別 冊

No. 1

19 令和5年(2023年)の人口統計資料集による年齢階級別人工妊娠中絶実施率(女子人口千対)の推移をグラフに示す。



Aが示す年齢階級はどれか。

1. 20歳未満
2. 20~24歳
3. 30~34歳
4. 40~44歳

20 Aさん(25歳、初妊婦、保育士)は妊娠13週である。妊娠初期の検査でサイトメガロウイルスIgG抗体が陰性であった。

Aさんへのサイトメガロウイルスの母子感染を予防するための指導で適切なのはどれか。

1. ネコの飼育の禁止
2. 園児のおむつ交換後の手洗い
3. 家庭菜園の野菜収穫後の手洗い
4. 出産後の児への母乳哺育の禁止

21 助産師外来について適切なのはどれか。

1. 助産師と医師の連携・協働が必須である。
2. 業務は、医療法で定められている業務範囲内が前提である。
3. 保健指導や母乳外来の報告基準は、すべての施設で共通している。
4. 医師が妊婦健康診査を行い、助産師が保健指導を担当するものをいう。

22 自宅分娩を取り扱う場合、妊婦等の異常に対応する医療機関の確保等に関する事項が明記された法律はどれか。

1. 刑法
2. 医療法
3. 地域保健法
4. 保健師助産師看護師法

23 Aさん(21歳、アルバイト)はパートナーと2人暮らし。パートナーの不在時に急な腹痛があり、近くに住む友人を呼んだ。友人が到着した直後に自宅で女兒を出産し、そのまま胎盤も娩出された。Aさんはしばらく月経が来ていないことには気が付いていたが、これまでも無月経だった時期があり、自分が妊娠しているとは思っておらず、妊婦健康診査は未受診であった。Aさんと兒は救急車で搬送され、救急外来で助産師が新生兒と胎盤を受け取り、その後、医師が会陰裂傷部を縫合した。

出生証明書を作成するのは誰か。

1. Aさん本人
2. 病院の医師
3. Aさんの友人
4. 病院の助産師

24 産科医療補償制度について正しいのはどれか。

1. 早産兒は補償対象ではない。
2. 分娩に関連した母親の後遺症も補償される。
3. 脳性麻痺発症の再発防止への取り組みを行っている。
4. 補償金は分娩機関を通して妊産婦(子ども)に支払われる。

25 Aさん(29歳、初産婦)は妊娠38週3日、硬膜外麻酔下で分娩誘発を行っている。硬膜外麻酔開始前のAさんの血圧は120/60 mmHgであった。硬膜外麻酔開始1時間後、陣痛周期8分で内診を行ったところ、子宮口3 cm開大であった。Aさんから「気分が悪い」と訴えがあり、血圧を確認したところ、72/40 mmHgであった。

医師に優先して伝えるのはどれか。

1. 「分娩第1期です」
2. 「血圧が低下しています」
3. 「家族に連絡しましょうか」
4. 「硬膜外麻酔開始から1時間経過しました」

26 原発性不妊の定義で正しいのはどれか。

1. 第2子以降の不妊
2. 女性に原因がある不妊
3. 原因が特定できない不妊
4. 不妊期間が半年以上続く不妊
5. 妊娠を一度も経験していない不妊

27 Aさん(40歳、初妊婦)は妊娠11週0日。染色体異常を心配して夫と共に産婦人科クリニックを受診した。

夫婦への説明の内容で正しいのはどれか。

1. 母親の血液検査で染色体異常の確定診断ができる。
2. 先天性疾患の約60%は染色体異常によって起こる。
3. 胎児の超音波検査で染色体異常の確定診断ができる。
4. 染色体異常の確定をするためには、夫婦の染色体検査が必要である。
5. 母体の年齢からのDown(ダウン)症候群の発生リスクは約1%である。

28 免疫学的妊娠反応検査で検出するホルモンはどれか。

1. エストロゲン
2. コルチゾール
3. プロゲステロン
4. hPL(ヒト胎盤性ラクタゲン)
5. hCG(ヒト絨毛性ゴナドトロピン)

29 羊水量が少ない場合に形成が阻害される胎児の臓器はどれか。

1. 脳
2. 食道
3. 肺
4. 腎臓
5. 膀胱

30 子宮口全開大、Station +3 の胎児の回旋を膣入口部側から見た図を示す。なお、図の上方を恥骨側、下方を仙骨側とする。

正常な胎児の回旋を示すのはどれか。

1.



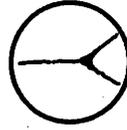
2.



3.



4.



5.



31 Aさん(37歳、初産婦)は妊娠30週2日に妊婦健康診査で来院した。既往歴および家族歴に特記すべきことはない。1日に数回の子宮収縮の自覚がある。血圧128/78 mmHg。血液検査データは、Hb 11.8 g/dL、Ht 34%。75 gOGTTで空腹時血糖 90 mg/dL、1時間値 177 mg/dL、2時間値 165 mg/dL。尿蛋白(-)、尿糖+であった。子宮底長 25 cm。子宮口は閉鎖、子宮頸管長 32 mm。児は骨盤位で推定胎児体重 1,450 gである。

このときのアセスメントで適切なのはどれか。

1. 正常経過
2. 切迫早産
3. 妊娠性貧血
4. 妊娠糖尿病
5. 胎児発育不全(FGR)

32 Aさん(42歳、初産婦)は順調な妊娠経過であったが、妊娠38週の妊婦健康診査で妊娠高血圧症候群と診断されたため、分娩誘発で経膣分娩した。産褥1日、突然「胃のあたりが痛い」と訴え、苦悶様表情を浮かべている。意識は清明で呼吸数24/分、脈拍100/分、血圧160/104 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)98% (room air)である。

直ちに行うべき検査はどれか。

1. 頭部CT検査
2. 血液ガス分析
3. 肝機能の血液検査
4. 胸部エックス線撮影
5. 上部消化管内視鏡検査

33 精液検査の結果で異常な値はどれか。2つ選べ。

1. 液量：1.0 mL
2. 総運動率：60%
3. 精子生存率：70%
4. 前進運動率：10%
5. 形態正常精子：20%

34 子宮内胎児死亡の原因検索として行われる検査で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 羊水検査
2. 胎盤の病理検査
3. 夫婦の染色体検査
4. 臍帯動脈血液ガス分析
5. 母体の抗リン脂質抗体の検査

35 直接哺乳の際に、児が適切に吸着できているのはどれか。2つ選べ。

1. 母親は乳頭の痛みを感じる。
2. 児の口唇が外向きに広がっている。
3. 児の顎が乳房に押し込まれていない。
4. 児の頬はくぼみがなく丸みを帯びて見える。
5. 母親は乳頭を強く引っばられる感覚がない。

36 早期新生児の保清について、沐浴と比較したときのドライテクニックの特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 血液循環を促す。
2. 臭気を減少させる。
3. 感染症を減少させる。
4. 低体温を予防できる。
5. 臍帯脱落の時期が遅くなる。

37 正期産児に発症した胎便吸引症候群の合併症で頻度が高いのはどれか。2つ選べ。

1. 新生児仮死
2. 動脈管開存症
3. 気管支肺異形成
4. 胎便関連性腸閉塞
5. 新生児遷延性肺高血圧症

38 乳幼児の百日咳感染について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 潜伏期間は2～3日である。
2. ペニシリン系の抗菌薬が第一選択となる。
3. 主な感染経路は飛沫感染と接触感染である。
4. 病期は痙咳期と回復期の2期に分けられる。
5. 生後6か月未満の感染では無呼吸の合併リスクがある。

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

A さん(36 歳、未妊婦)は 4 か月前から月経中の下腹部痛が強くなっていることを自覚し、近くの産婦人科を受診した。月経は規則的で量は正常。

既往歴：特記すべきことはない。

生活歴：半年前に結婚し、結婚後も仕事を継続している。

家族歴：A さんの母親は乳癌の手術歴があり、母方の祖母が乳癌で死亡している。

身体所見：身長 157 cm、体重 52 kg。

検査所見：内診にて骨盤内に強い癒着や圧痛はみられない。経膈超音波検査で左卵巣内に 3 cm 大の子宮内膜症性嚢胞が確認された。

39 A さんは医師から月経痛に対して痛み止めの処方を受けた。医師の診察後に、将来の妊娠の計画について助産師が相談を受けた。A さんは子どもが 2 人欲しいと考えているという。

助産師が行う A さんへの説明で正しいのはどれか。

1. 「体重を減らすと妊娠しやすいです」
2. 「妊娠のために仕事はやめましょう」
3. 「不妊治療を受ける必要があります」
4. 「早めの妊娠を目指すことが望ましいです」
5. 「妊娠のために子宮内膜症の手術が必要です」

40 初診から2か月後、Aさんは卵巣子宮内膜症性嚢胞の変化を確認するため、再度受診し、受診前の問診で乳癌に関して助産師に相談した。Aさんは「家族に乳癌が多いので自分も乳癌にならないか心配だ」と助産師に話した。

Aさんの乳癌発症のリスクを評価するのに、助産師がAさんに確認すべき情報はどれか。

1. 母親と祖母の子宮内膜症の既往の有無
2. 母親と祖母の乳癌の発症年齢
3. 母親と祖母の食生活
4. 母親と祖母の月経歴
5. 母親と祖母の体重

41 Aさんは「乳がん検診や検査の方法について知りたい」と言う。

Aさんへの説明で適切なのはどれか。

1. 「CT検査で検診を行います」
2. 「超音波検査で悪性の確定診断ができます」
3. 「Aさんの年齢では超音波検査の有効性は低くなります」
4. 「医療機関での定期検診と乳房自己検診の両方をするのが大切です」

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

Aさん(38歳、初産婦)は妊娠34週1日、妊婦健康診査でかかりつけの産婦人科を受診した。「最近、足のむくみが気になります」と訴えている。身長160cm、体重65kgで2週前から6kg増加している。血圧138/94mmHg、尿蛋白(-)、浮腫+。超音波検査で推定胎児体重1,660g(-1.9SD)、30分間の観察で呼吸様運動を1回、体幹の動きを3回、四肢の伸展屈曲運動を1回みとめ、羊水ポケット3cm、子宮頸管長30mmであった。子宮収縮の自覚はあり、時折、痛みを感じることもある。胎児心拍数陣痛図(別冊No. 2)を別に示す。

42 このときのアセスメントとして正しいのはどれか。

1. 切迫早産である。
2. 塩分制限が必要である。
3. 妊娠高血圧腎症である。
4. Biophysical profile score(BPS)は8点である。

別 冊

No. 2

43 Aさんは妊娠34週1日から入院管理されていたが、妊娠36週4日、前期破水の診断となった。体温36.7℃、内診所見は、子宮口1cm開大、展退度30%、Station-2、児頭が触れる。超音波検査で推定胎児体重2,080g(-1.8SD)、羊水ポケット1cm。胎動の自覚は良好で、不規則な子宮収縮の自覚がある。

Aさんへの治療で正しいのはどれか。

1. 床上安静
2. 抗菌薬の投与
3. 人工羊水注入
4. ステロイドの投与
5. 子宮収縮抑制薬の投与

44 Aさんから「頭が痛くて目がチカチカする」とナースコールがあり、助産師が訪室した。意識は清明、体温37.4℃、血圧168/110mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)98%(room air)である。

このときの助産師の対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 酸素を投与する。
2. 部屋を暗くする。
3. 降圧薬を準備する。
4. 水分の摂取を促す。
5. 鎮痛薬を準備する。

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

Aさん(30歳、初産婦)は妊娠40週5日、病院に電話し「破水しました。お腹の張りはありますが、12～15分くらいの間隔で不規則です」と話した。

30分後に病院に到着し、クスコ式陰鏡で診察し、BTB試験紙は青色を示した。その後、分娩監視装置が装着された。12～15分に1回の子宮収縮があり、胎児心拍数基線150bpm、基線細変動は正常で、軽度の変動一過性徐脈が1回みられた。体温37.2℃、脈拍80/分、内診所見は子宮口2cm開大、展退度30%、Station-2。昨日、妊婦健康診査を受診しており、超音波検査にて推定胎児体重3,900g、羊水ポケットは3cmであった。

45 この時に考えられるのはどれか。

1. 巨大児
2. 前期破水
3. 絨毛膜羊膜炎
4. 胎児機能不全

46 入院から12時間経過し、Aさんは子宮口9cm開大、Station+2となった。ベッドサイドに座り、表情に疲労感がある。陣痛間欠3分、陣痛発作50秒、胎児心拍数陣痛図はレベル2である。Aさんは「少し眠くなってきました」と話した。

Aさんへのケアで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. シャワー浴を勧める。
2. 糖分の入っている飲み物を勧める。
3. 膀胱留置カテーテルの準備をする。
4. 横になって休んでも良いと説明する。
5. オキシトシン点滴静脈内注射の準備をする。

47 Aさんは3,800gの児を吸引分娩で出産した。会陰縫合時、肛門括約筋までの会陰裂傷が観察された。分娩後1時間が経過し「おしりがズキズキと痛いです。便が出るような気がします」と訴えた。子宮底は臍高。恥骨結合部の溝が触知されない。

このときに考えられるのはどれか。

1. 膣壁血腫
2. 子宮内反症
3. 会陰裂傷Ⅳ度
4. 恥骨結合離開

次の文を読み 48～50 の問いに答えよ。

Aさん(35歳、初産婦)は妊娠22週0日で性器出血を主訴に産婦人科診療所を受診したところ、胎胞が膨隆しており、総合周産期母子医療センターである大学病院に母体搬送された。搬送後、腔内に4cm程度の胎胞が認められ、子宮収縮抑制薬を投与し妊娠継続をはかっていたが、4日後に陣痛発来し、Bちゃん(540g、女児)を経膣分娩で出産した。新生児科医が立ち会いを行い、BちゃんはApgar(アプガー)スコア1分後1点、5分後2点。生後7分で気管内挿管を行いNICUに入院となった。

48 Bちゃんの出生後の特徴で正しいのはどれか。

1. 不感蒸泄が多い。
2. 血圧は変動しない。
3. 低カリウム血症を起こしやすい。
4. リンの蓄積量は正期産児と変わらない。

49 BちゃんはNICU入院後に中心静脈カテーテルを挿入し、アミノ酸を主体とした静脈栄養を開始した。その後、経腸栄養を開始するために栄養カテーテルを挿入した。

Bちゃんに対する経管栄養法で適切なのはどれか。

1. 人工乳から開始する。
2. 4Frのカテーテルを使用する。
3. カテーテルは2週に1回交換する。
4. 注入量は児の状態を確認しながら1日毎に増量する。

50 BちゃんはNICU入院後、閉鎖式保育器に収容され、1週が経過した。

Bちゃんに行うケアで適切なのはどれか。

1. NICUは昼夜同じ明るさとする。
2. ケアは短時間で数回に分けて行う。
3. 処置に伴う痛みの軽減には囲い込みを行う。
4. 児の安静時にはモニターの心拍同期音が聞こえるように設定する。

次の文を読み 51～53 の問いに答えよ。

A さん(19 歳、初産婦)は高校在学中に妊娠し、卒業後、妊娠 38 週で近くのクリニックで出産し、母子ともに経過良好である。A さんは現在、実母と同居している。パートナー(18 歳、アルバイト)は近隣に住み、入籍はしたが同居の予定はない。

退院 2 週間後、市の助産師が A さん宅への新生児訪問を実施した。A さんは「母やパートナーは仕事で忙しく、話をする時間がなくて寂しい。入院時に育児のことを教えてもらったけど、どうしていいか分からなくなることがある。赤ちゃんはよく泣きます。母乳をあげた後、不安なのでミルクを追加しています」と話した。児の前額には脂漏性湿疹がみられた。児の衣服は整っている。母乳分泌は良好で、児の体重増加は 60 g/日である。助産師は、児の洗顔と体温調節の方法を指導し、母乳だけで様子を見るように伝えた。

51 この後の助産師の A さんへの対応で適切なのはどれか。

1. 児の乳児院への入所を勧める。
2. 新生児訪問の 2 回目を計画する。
3. 実母に育児の相談をするように促す。
4. パートナーと早く同居するよう助言する。

52 Aさんは児の4か月児健康診査のため、保健センターを訪れた。Aさんは助産師に、子育てについて話をする友人がほしいが、同じような状況の人と出会うのが難しいこと、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を見て落ち込んでしまうことを話した。助産師は市の保健師と相談し、今後のAさんの支援のために多職種で会議を持つこととなった。

助産師と保健師の他に、会議に参加する職種はどれか。

1. 市の精神保健福祉士
2. 児のかかりつけの小児科医
3. 地域子育て支援拠点事業所の専任職員
4. Aさんが出産したクリニックの産婦人科医

53 Aさんの妊娠をきっかけに、高校では性教育の必要性を実感し、市の助産師に性教育を依頼した。依頼を受けた助産師は、包括的セクシュアリティ教育を取り入れた性教育を行うことにした。

教育内容に取り入れるのはどれか。2つ選べ。

1. 対人関係スキル
2. 性感染症を予防する具体的な方法
3. 避妊具を携帯するのは恥ずかしいこと
4. 人工妊娠中絶は倫理的に問題であること
5. 性に対する社会共通の価値観を守ること

次の文を読み 54、55 の問いに答えよ。

A さん(71 歳、女性)は現在夫と 2 人暮らしで、2 人の子どもは独立している。朝のウォーキングを日課にしている。閉経して 20 年が経過した。子宮がん検診で来院した際に「少し恥ずかしい話なのですが、最近、膣の中が痒くて熱い感じがします。それに、たまに夫に性交を求められても、痛くて困っています」と静かに話し「我慢すれば症状が治まると思う」と言う。外陰部に発赤や潰瘍はみられず、性器出血はない。

54 A さんの症状から考えられるのはどれか。

1. 子宮腫瘍
2. 卵巣腫瘍
3. 萎縮性膣炎
4. 性器ヘルペス

55 A さんへの指導で適切なのはどれか。

1. 「ウォーキングはやめて家の中で過ごしましょう」
2. 「性交時は局所の潤滑ゼリーを使用してみましょう」
3. 「膣内は強い酸性のため細菌は侵入しませんので安心してください」
4. 「ストレスからくる症状のためストレスを溜めないように過ごしましょう」